

防 除 情 報

平成16年7月16日
長崎県病害虫防除所長

平成16年度病害虫発生予察 防除情報第5号

トマトの黄化葉巻病の防除対策について

トマト黄化葉巻病はシルバーリーフコナジラミが媒介するウイルス病ですが、そのシルバーリーフコナジラミが春先から多く発生しております。また、県下各地の夏秋トマトや家庭菜園において本病が発生しています。これから、冬春トマトの育苗が始りますが、本作型において、育苗時期から10月頃までが本病にかかりやすい時期となるので、下記の点に注意して防除を行ってください。

記

1. 伝染源（病原ウイルス）の除去
 - ・ トマトの罹病株を早期発見し、早期抜き取りを行う。
 - ・ ハウス内、ハウス周囲の雑草にも感染の可能性があるため除草を行う。
2. 媒介虫（シルバーリーフコナジラミ）の発生源の除去
 - ・ ハウス内、ハウス周囲の雑草が媒介虫の発生源となるので育苗前に除草を徹底する。
3. 育苗圃、本圃への媒介虫侵入防止
 - ・ 物理的防除法（1mm目以下の防虫ネット、近紫外線除去フィルム）により媒介虫の侵入防止を図る。
4. ハウス内での一次感染防止
 - ・ 育苗期後半から定植期の粒剤施用により本病の感染を抑制する。
 - ・ ハウス内に黄色粘着版または粘着テープを設置し、媒介虫をモニタリングする。
 - ・ 媒介虫の侵入確認後は直ちに薬剤散布による防除を行う。
5. 二次感染防止
 - ・ ハウス内でのウイルス蔓延を防ぐため、感染株は見つけ次第抜き取る。